



「人として生きていくための勇気と自信を培うサポート活動」  
「40歳くらいまでのひきこもり経験者・不登校・学校中退・対人不安・心理面サポートを必要とされる方への居場所提供・フリースクール活動・個別指導学習サポート・家庭教師・家庭訪問・カウンセリング面談・各種相談活動」

## 「2018年度運営に向けて」

4月15日（今回の通信編集前日）に2018年度KSCE社員総会（NPOの正会員参加の株式会社と言う株主総会）が行われました。そこで2017年度KSCEの決算と2018年度の予定と予算、理事の改選などが行われ、承認をいただき、これで2018年度を無事にスタートすることができました。

2018年3月から京都教育サポートセンターは17年目の活動に入りました。そして昨年度までの実績と結果並びに総会を経て、2018年度の運営を変更してまいります。その結果このKSCEでの活動を今後も継続していくために、安定したスタッフ体制の構築・スタッフの負担度合いによる費用制度・スタッフの負担軽減となるシステムが必要であることが一つの決議となりました。早いものは5月より実施し、遅くとも7月から変更した活動を行います。主なものを下記にて掲載しております。詳細は別紙案内や新しいチラシなどでお知らせいたします。

### ○機関紙の変更

機関紙「KSCE 通信」は機関紙としてコラムや活動報告に、イベントスケジュールなどの案内も兼ねたものでしたが、広報に特化した構成に変更し、2か月に1度の発行頻度に変更をいたします。また、利用者向けのフリースクール活動の予定などは別紙にて毎月案内を作成し、配布いたします。

### ○相談部門の費用・システムの改定

2017年度から相談に関わる部分において電話相談会員・面談による相談を予約制と費用制を実施していますが、これまでの実施結果を踏まえて変更をいたします。詳細は後日別紙でご案内いたします。

○学習サポート・相談活動・家庭派遣・家庭教師に関する変更やお休みに関する規定を変更いたします。詳細は別紙にて案内いたします。

これからも利用される方にとって前へ進むうとするお手伝いになるような環境づくり、コンテンツ作りを目指しながら運営を継続していきたいと思っております。皆様のご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。



## カウンセラーの目

### 「世界は消費者でいっぱい」

ずっと前に「この世の中に消費者が多くなり過ぎている」という話を書かせてもらったことがあった。

あれからどの位の時間が経過しただろうか……この春、年度が変わって学校（たぶん企業も）は、新しい年度としての活動が始まっているが、とうとう「消費者は、ここまで来たか……」という時代（年度）に到達したという印象を持った。

これまでの世界では、学校や職場で先輩、上司、指導者と呼ばれる立ち位置の人物は何らかの「生産者」としての役割を果たすことになっていたのだが、とうとう先輩、上司、さらに指導者という立ち位置の人の中にも「消費者」が現れ始めたように思える。

学校での先輩などという立ち位置の人は、その人自身が学生なので、多少大目に見てもらえる所もありそうだが、（それがバイト先で、本人が学生だったとしても）職場での先輩という立ち位置の人は、新人さんに対しては「生産者」としての役割が期待されている。

まして上司、指導者という立ち位置の人物は新人さんに対して「生産者としてふるまう」ことが（社会的にも？）求められている。

というか……新人という消費者に対して、生産者として接することで、「現状、消費者として生きてきた新人」を「生産者の新人」に育てていく立場の人のことを「上司、指導者」と呼んでいるという表現の方が、言い方として正しいのだろう。

ところが、上司、指導者という立ち位置の人物が、消費者としてふるまい続けている場面を見てしまうことが増えているように思える。

背後に「消費者としての上司」が存在している典型的な場面で耳にするセリフの一つが「……ったく、使えねえ新人だな……」というフレーズがある。

このセリフは、生産者としての上司が、目的、手順など一通りのことを「(情報)生産して提供し、新人がそれを消費(吸収)した後に、実践させた場面で、基本というか、基礎の基礎をないがしろにして失敗をした」という場面で初めて使えるフレーズなのだが、現状で増えてきているのは、新人が着任の挨拶をして、まだそれほど時間が経過せず、しかも上司として仕事の目的も、職場の役割に関する情報も、行動の手順も提供しない状況で、「おい、これを処理しといてくれ」と仕事を与えて、新人が棒立ちになっているという場面で発せられることが増えているように思えるのだ。

これは、自分の所に回ってきた重圧（仕事）を新人という存在を消費することで軽減しようという消費活動であって、周ってきた仕事を処理するという生産活動では無い。

……と、こういう話を提示すると、「確かにそういう中間管理職が増えてきて会社としても困っているんですよ……」という声が聞こえてきたりするのだが、会社そのものが、一昔前（いや、今や二昔以上まえということになるか……）に、当たり前のようにやっていた人材育成というのを、自社で行わず、外注したり、社員募集に「中途採用、即戦力の人材求む」などと掲げたりしていて、「会社そのものも、人材は生産するのでは無く消費するものという発想」になっていたりする。二昔以上前……というより、もはや時代劇のワンシーンで、「おまえも、なかなか腕を上げたな……きょうから一人前の者として〇〇と名乗るが良い……」と師匠が弟子に免許皆伝を許すという場面があったりした。

そういうシーンを実際に見ることが、このごろ激減していると感じないだろうか。

数少ない現場としては、「はい、縦列駐車は合格、坂道発進も合格」という感じで、自動車教習所には残っているのかも知れない……が、バイトなどで店に行くと、(雇われ)店長とかバイトリーダーとかが、「ん、ま、まずは研修ってことで、〇〇さんと一緒に店に出て……」という具合で、店の方針とか、営業の目的意識とかの紹介なしで現場に出されて、一週間ほど見よう見まねで店を手伝ったあげく、(雇われ)店長とかバイトリーダーとかに改めて呼び出されて「どう、一人でやれそうかな……」と聞かれて、「まあ、一週間、やれたので、この調子で良いのなら何とか成りそうです……」と応じると、「じゃあ、来週から一人シフトをお願いするから……」などという形でバイトの正式採用が決まったりするというパターンが増えているのでは無いだろうか。

今の時代は、そういう採用形式が「正常な手順」になっているようだが、元々は時代劇のワンシーンのように、一週間研修として店に出て、そのようすを見た「(それが雇われ店長でもバイトリーダーでも)雇い主」が「きみは一人前の店員としての腕を身につけたと思えるので、正式採用するとしよう」と宣言するのが「正常な手順」だったのだ。

「雇われる側」が(勝手に)「私は店を仕切れます」などというのは言語道断じゃ無いの……しかも「雇い主が、できる人材かどうかを、雇われる人に聞く」って……変だと思いませんか……そう言われると、あれ、確かに何か変なことになっている……と気づく人も出てくるが、「消費者」として生きることに取り込まれている度合いが強いと「他人ができるかどうかなんて、本人にしか分からないから、聞くしか無いじゃない」と思ってしまうし、「できるといったのに、期待通りに仕事してくれないなんて、何てヤツだ」と言って自分の希望通りに人材を消費できなかった苦情を相手に向けたりすることになっていたりする。

二昔以上前の白黒フィルムの時代劇などのワンシーンで、主人公に闇討ちを仕掛けようとする奴が登場して、夕暮れの道を歩いている主人公の後を付け狙っている……その気配を感じた主人公が生垣の一部に枝を伸ばしていた椿の花の咲いた枝を一瞬で切り落として悠々と去っていく、付け狙っていた奴は「ぬぬ、あやつ、できる……」と呟いていったん引き下がる……というのを見て、「何か、そういうシーンって他でも見たことあるけど、木の枝切ったからって、何でできる奴ってことになるの」という人は多くなっているように思う。

いや、そういう疑問を感じた人は、自力で生産者側になれる可能性のある人と言えそうだが、もっと多くの方は「また、例のシーンだ……で、この先、話はどうなるの……」とエンターテインメントの消費の方に関心が向いていたりする。だから、映画製作をする人が「消費者として生きることに取り込まれている人にも、分からせたい」と思う場合、これからの時代劇なら、テロップを出すとかして、「椿の花は、桜などと異なり、花が散るときに塊のまま落ちてしまいます。そのため、散り際の椿の花は枝に僅かな振動を与えても、花が枝から外れてしまうことが多いのですが、そんな椿の花の枝を切り落として、なおかつ花が枝から外れることなく枝ごと地面に落ちるということは、主人公の刀の使い方が、素早い上に繊細なコントロールができていていることを示しているわけです。また、それを見極める能力があるということで、敵役の武士も相当な腕を持っているということが示されているのです。また、直後のシーンで残った枝の切り口のアップが一瞬示されるのも、その切り口で、主人公の刀の動きがためらい無く適切な角度で打ち込まれているという技術の高さを見せようということで挿入されているのです。」と、これくらいの解説をしなくてはならない……今はそういう時代になっているようなのです。

(高石 公資)



## イベント紹介・報告

☆3月1日  
レクリエーション部 ゴッホ展に行こう

参加者いなく、中止になりました。残念。

☆3月4日  
きょうと地域力アップおうえんフェア

様々な活動をしている団体の活動展示、ワークショップ、体験などがゼスト御池にて行われました。会場ではα-stationのDJの方々が進行を務められ光永亮太さんのライブなども行われ大変盛況でした。KSCEもブース出展し、たくさんの方に活動を見ていただき、ワークショップではタイルアートの体験をしていただきました。個性があるタイルアートのフォトフレームが出来上がっていましたね。



☆3月8日  
学食 walk 関西大学

学食 walk の活動を実施して以来たぶん、京都以外に出かけたのは初めてだと思います。今回は関西大学千里山キャンパスに行きました・・・が学食は春休みのためかお休みでした。しかしこのキャンパスから阪急の駅までの間には学生が通う食堂系統もあり今回はその中の1件のお店に行きました。学生がよく利用されているのは食べている間のお客さんの層でよくわかりました。そしてリーズナブルな値段でお腹いっぱいになる量の定食！満足でした。



☆3月15日  
レクリエーション部 カラオケ

定番のカラオケを年度末の最後に行いました。たくさん歌って気分爽快！

☆3月20日  
健康体操教室

体をほぐし、ヒーリングをして心も体もリフレッシュ！です。



☆3月21日  
活字倶楽部 漫画ミュージアムに行こう

参加者がいなく、中止になりました。編集個人的には行きたかった・・・。

☆3月25日  
散策部 太陽が丘ピクニック

強風が吹いてフライングディスクやボールが曲がる曲がる（笑）いい運動になりました。そして晴天でしたので気持ちよかったです。



☆3月31日  
アポロ活動 年度末パーティ

2017年度の締めくくりのパーティを行いました。バターロール・レーズンロールを間を切ってそこにハムやタマゴやフルーツなど好きな物をはさんでトッピングし、それとお菓子でパーティを実施しました。この日ですタフを抜ける方がルネッサンスリユートという楽器を演奏していただいたり、レクリエーションでは懐かし?のフルーツバスケットなどをして楽しい時間となりました。



 **ものづくりかふえ**

☆3月16日

今回はコラージュを実施。個人的にはいい感じのコラージュです（笑）



## お知らせ

### ☆ 機関紙の購読または設置していただける方を募集しています

- ・当所の活動報告を行う機関紙「KSCE 通信」や案内三折パンフレット・各種活動チラシ・同居団体個別指導学習塾「個別教育予備校 MES」の三折パンフレットなどをおいていただける方・場所の情報を教えていただける方などを募集しています。
- ・個人で機関紙を購読という形でご支援いただける方募集しております。機関紙購読は送料込みで年3600円でご支援をお願いしております。メール添付による個人の方は2400円・関連団体や連携団体の方は原則無料で送付させていただきます。
- ・機関紙に広告を掲載させていただくことでの広告料という形式でのご支援も募集しております。
- ・機関紙は紙面による配布とPDF形式によるメール添付形式で行っております。

### ☆ 賛助会員・寄付会員を募っています

賛助会員は12000円/年

寄付会員は金額は任意です。どちらの会員も機関紙による活動報告をさせていただき、会員の種類・金額により、ものづくりかふえ活動での手作り品のお礼をさせていただいています。寄付会員の方は、良ければ機関紙に寄付の方のお名前を掲載させていただけると幸いです。

### ☆ 物品寄贈も随時募っています

衣類・雑貨・書籍など市役所前フリマに出店して販売できるものを随時募集しています。ゴミの減量目的のリユース活動として、フリマの収益は当所の運営に充当させていただきまます。NPOの苦しい会計の手助けをしていただけると幸いです。また当所の学修サポート・フリースペース提供・フリースクール活動で使用できる教材・赤本・高校卒業程度認定試験対策問題集・教科書・教科書ガイド・問題集・マンガ・小説・知育玩具・パズル・ボードゲーム・カードゲーム・スポーツグッズ・収納関係（要事前相談）・OA機器・OAサプライ等を随時募集しています。宅急便（費用はお願いしています）・持ち込みなどをお願いしております。徒歩圏内は台車でのお伺いも可能です。賛同していただける方は電話・メールでお申し出ください。もしよろしければ、通信による活動報告や、通信へのお名前の記載をさせていただけると幸いです。

兵庫県三田市 匿名様、新潟県長岡市 匿名様、愛知県名古屋市 匿名様より寄贈いただきました。ありがとうございます。（お名前掲載の許可をいただけた場合には氏名で掲載させていただきます）

### ○ 京都教育サポートセンターの活動をご支援ください

ボランティア募集・物品寄贈・賛助会員・寄付会員・などのお問い合わせはお気軽にお申し出ください。電話（075-211-0750）は火曜日～土曜日の11時から18時（時間外も代表在中時は対応いたします）メールは24時間受付 [soudan@ksce.jpn.org](mailto:soudan@ksce.jpn.org) まで。



## フリースクール事業の再編

○フリースクール事業の再編（名称も変更予定）

これまでは定期的実施活動の「集い場○」とそれ以外の「自立支援活動アポロ」とで実施していましたが事業を一本化し（名称未定）集い場○の内容も再編いたします。またフリースクール活動の一部においては実施日にフリースペースを閉鎖し、イベント専用とする日を設けます。カレンダーで確認いただきますようお願いいたします。

○フリースペースの利用についての利用ルールを変更いたします。

1. カルム・麻雀・ドンジャラ・TVゲームのフリースペースでの利用はカレンダー中のレク日に限定いたします。
2. ボードゲーム・カードゲーム・携帯ゲーム・各自持参のスマホ・タブレット等でのゲームは今までどおりに可能です。ただし、声量・音量はお願いする場合があります。
3. 上記を含めたフリースペース利用ルールを設定いたします。

○学習サポート・家庭派遣・家庭訪問・面談相談専用日（月に2日程度）を設けます。その日はフリースペース利用ができません。逆に不定期で休日利用日を設定することを検討しています（費用は別料金予定）

## ボランティアスタッフ・イベント実施日お手伝いスタッフ募集中

月曜日「事務作業系統のお手伝い」

火曜日～土曜日「フリースペースでの話し相手・遊び相手」と「イベント実施時の運営手伝い」

日曜日「イベント実施時の運営手伝い」

オプション 利用者や保護者の面談・相談・訪問活動対応（一定期間後のこの活動希望者）

学習サポート 小学生内容～大学受験・高認受験・発達障がい等向け生活に即した学習・支援学校対策などの活動もあります。

20歳以上45歳くらいまで

曜日固定の有無は問わず月4日以上くらい活動可能な方

まずは見学にお越しく下さい。詳細を説明させていただきます。

075-211-0750 syomu@ksce.jpn.org まで（担当：南山）

## 編集後記

6月号か7月号よりこの機関紙「KSCE 通信」はコラム・報告・募集等に特化して隔月刊に変更し、当所利用（希望）者に向けたコラム・スケジュールイベント案内等の機関紙「ゆっ歩」（ゆっぽ・・・ゆっくり歩もう）を創刊する予定です。

よろしく願いいたします。

（南山 勝宣）

フェイスブックページ

<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>

Twitter ID「ksceleader」

ブログ [http://ksce.jpn.org/?page\\_id=1234](http://ksce.jpn.org/?page_id=1234)

# 2018年5月

日	月	火	水	木	金	土
		GW休業 1	GW休業 2	GW休業 3	GW休業 4	GW休業 5
GW休業 6	FS休 7	8	9	10	11	レク日 12
お休み 13	FS休 14	15	16	レク日 17	ものづくりかふえ 18	19
お休み 20	FS休 21	22	健康体操教室 23	24	25	レク日 26
お休み 27	FS休 28	29	30	レク日 31		

## 5月

18日(金) ものづくりかふえ

※カレンダー中の表記について

23日(水) 健康体操教室

「FS休」・・・イベント専用または学習サポート・家庭派遣・面談相談専用日で

5月未定 学食 walk 4月20日ミーティングで決定します。

フリースペース利用をお休みとする日です。

5月未定 散策部・レクリエーション部(統合し名称変更予定)

「レク日」・・・カルム・TVゲーム・麻雀・ドンジャラなどの場所を取る・雰囲気は他者に影響を及ぼす確率が高めのものをする事が可能な日とします。

4月20日ミーティングで決定します。

※人生ゲーム・カードゲーム・携帯ゲーム・各自スマホ等の使用は従来どおり可能とします。(音量・声量の制限をかける場合があります)

他の予定はフェイスブックページ・twitter・ブログにて告知いたします。事務所にも掲示いたします。

「MES」・・・個別教育予備校 MESのみ実施日でKSCEは休業です。

「お休み」・・・KSCE・MESともに休業です。

4月29日(日)～5月6日(日)  
GW休業で「お休み」

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jp、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2018年4月16日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター